

長野市下水道事業経営戦略の進捗状況

平成30年2月
上下水道局総務課

I. 経営の基本方針に係る主な取組状況

【経営戦略 13 ページから】

1 適正で効率的な維持管理による安定した下水道機能の確保

(1) 施設の適正な管理

管路の適正な維持管理のため、市内を7つのブロックに分けて順次点検・調査を行っており、平成29年度は若穂・戸隠・信州新町・中条地区において、巡視・点検業務、TVカメラ調査業務などの業務委託を実施しました。

- ・ 巡視、点検 実施距離 301km
- ・ TVカメラ調査 実施距離 12km
- ・ 管路清掃 実施距離 61km

(2) 計画的な改築更新

下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測しながら、維持管理、改築を一体的に捉えて計画的・効率的に管理する「長野市下水道ストックマネジメント計画」を平成30年度までの2か年で策定しています。

管路施設は、平成29年度に策定したストックマネジメント計画により、調査による状態の把握を行うことで、更新の基準となる目標耐用年数を66年に設定（標準耐用年数は50年）し、管路の緊急度等から定めた優先順位に基づき、平成30年度から管更生工事を実施します。

汚水処理施設等は、東部浄化センター、安茂里污水ポンプ場、マンホールポンプ場及び特環の豊岡・鬼無里・信州新町浄化センターについて、平成29年度は詳細な調査を実施し、平成30年度に計画を策定します。

(3) 下水道の普及・啓発

「広報ながの」及びメーター検針時に配付する「使用水量のお知らせ」の裏面を利用して、下水道への接続を呼びかけ、計画区域外の方には戸別浄化槽制度の周知を行いました。

また、下水道未接続家屋約4,500件に対し、訪問による接続促進活動を実施しました。

- ・ 水洗促進強化週間の実施

[期間：9月8日～9月14日（5日間） 実施者：職員13名 内容：重点促進地域（篠ノ井、松代、若穂 他）、戸隠地区、中条地区において、訪問による促進活動を実施（5日間計509件、最終日は夜間も実施）]

- ・ 自由研究お助け教室の開催

[開催日：7月1日 場所：東部浄化センター
参加対象：小学生及び保護者 参加者：
77名]

- ・ 小学校（4年生）への出前教室の実施
[実績：市内小学校15校（33クラス、902人）]

- ・ 処理場見学の受入れ

[場所：東部浄化センター他 見学者：市内小学校4校（138人）]



自由研究お助け教室（東部浄化センター）

2 災害に強い安全・安心な下水道の整備

(1) 施設の耐震化

汚水処理施設の耐震化は、耐震診断結果と下水道長寿命化対策との整合を図りながら、効率的に実施しています。

- ・ 戸隠高原浄化センター耐震化工事

管路の耐震化は、広域避難場所に指定されている長野運動公園の排水を受け持つ汚水幹線について、地震時の液状化が想定されたため、マンホール浮上抑制工事を実施しました。

- ・ マンホール浮上抑制 24箇所

(2) 浸水対策

浸水被害の早期解消と軽減を図るため、近年被害が発生した篠ノ井、川中島及び古里地区等を重点的に合計2,047m（整備面積21.6ha）の雨水渠整備事業を実施しました。また、老朽化が著しい豊野地区の三念沢雨水ポンプ場の長寿命化工事を実施しました。

水門遠隔操作監視システムは、現況施設の状況調査を実施しました。

(3) 防災・減災対策

地震により下水道管に被害が発生したことを想定し、災害時の協定を締結している民間事業者に応援を要請して管路の巡視・点検による被害調査を円滑に行うための災害対応訓練を実施しました。併せて、マンホールから汚水が溢れた想定で、非常用発電機による仮設ポンプの運転を行う訓練も実施しました。

- ・ 応援要請・管路被害調査訓練、仮設ポンプ運転訓練

[実施日：2月6日 場所：東部浄化センター 参加者：17名 日本下水道管路管理業協会中部支部長野県部会、長野市下水道管理業協会、長野市上下水道局]

3 健全かつ透明性のある事業運営

(1) 経営健全化

策定中の長野市下水道ストックマネジメント計画により、施設の改築更新時期の集中を回避し、更新や維持管理に係る費用を平準化するとともに、財源確保の方策について検討しています。

(2) 事業の効率化

施設の統廃合として、豊野町二ツ石農業集落排水区域を公共下水道区域に編入することを決定しました。平成 32 年度末の統合予定で進めています。

また、農集のその他の地区については、平成 29 年度に実施した概略検討により、統合が可能と判断された 11 地区について、平成 30 年度に詳細な検討を行います。



統廃合により廃止される予定の
二ツ石排水処理施設（豊野町）

4 持続可能な経営のための財源の確保

(1) 使用料水準と使用料体系の検討

本格的な人口減少社会の到来を踏まえ、資産維持費の導入や基本使用料へ配分する固定費の範囲などについて、現状分析や他都市の動向調査を行い、使用料体系の研究を進めています。

Ⅱ. 主な事業などの取組状況

【経営戦略 16 ページから】

経営戦略の内容	平成29年度の取組状況（見込）
2 投資について	
(2) 施設の整備・更新について	
① 老朽管路の改築更新	【16ページ】
標準耐用年数を超過した老朽管路については、改築更新計画を作成し、管更生工事を実施	人孔鉄蓋(マンホール)交換 289箇所 老朽化したマンホール蓋の交換、マンホールの改築
② 污水处理施設・雨水ポンプ場の改築更新	【16ページ】
東部浄化センター設備更新等 (H29～H38)	自家発電設備・消毒設備・用水設備・監視制御設備更新工事 [計画どおり実施]
安茂里污水ポンプ場再構築関連 (H29～H38)	ポンプ井攪拌機、遠方監視装置等の機械・電気設備更新工事 [計画どおり実施]
特環処理場再構築関連(5か所) (H29～H38)	戸隠高原浄化センター:管理棟・最終沈殿池・塩素滅菌棟の耐震補強工事及びスカム移送ポンプ、水処理設備制御盤等の電気・機械設備更新工事 [計画どおり実施]
雨水ポンプ場長寿命化(4か所) (H29～H38)	三念沢雨水ポンプ場:機械設備・電気設備・除塵機の更新 [計画どおり実施]
③ 雨水渠の整備	【17ページ】
雨水渠は、近年の浸水被害実績や整備効果を踏まえ、優先順位の高い地域を中心に整備を推進	雨水渠整備 合計2,047m(整備面積21.6ha)を実施

経営戦略の内容	平成29年度の実施状況（見込）
(3) 広域化・共同化・最適化について	
② 農集を公共処理区へ統合（最適化） 【17ページ】	
農集の2か所の地区について、流域関連公共下水道へ接続して処理場を廃止する統廃合を計画	豊野町二ツ石農業集落排水区域を公共下水道区域に編入することを決定 (平成32年度末の統合予定)
(4) 防災・安全対策について	
① 管路施設の耐震化 【17ページ】	
重要路線の耐震化事業、管路の管更生工事やマンホール浮上抑制対策工事などを実施	マンホール浮上抑制工 24箇所 (吉田五丁目 他)
② 汚水処理施設・雨水ポンプ場の耐震化 【18ページ】	
戸隠高原浄化センター耐震化 (H29～H38)	戸隠高原浄化センター耐震化工事 [計画どおり実施]
鬼無里浄化センター耐震化 (H29～H38)	ストックマネジメント計画策定後の平成31年度から計画的な改築更新を実施する [計画を変更]
③ 浸水被害軽減対策 【18ページ】	
上流域からの雨水排水の流入抑制や、既存排水路等の有効活用による浸水被害の抑制を図る	上流域からの雨水排水の流入抑制策について検討
5 現在検討中及び今後検討予定の取組について	
(1) 投資についての検討状況等	
最適化に関する事項について 【19ページ】	
農集の施設を廃止し、公共へ接続する統廃合について、計画期間内の2か所のほか、3か所の統廃合の可能性について検討を始めています。	11ヶ所の農業集落排水処理施設について、平成30年度に統合が有利か不利かの判定を行い、有利とされた施設については計画的に統合を実施する

Ⅲ. 業務量・財政収支・目標指標の達成状況と分析

1 業務量

項 目	H27	H28	H29		
			計画	実績(見込)	増減比率
処理区域内人口(人)	371,977	371,144	366,121	371,128	101.4%
水洗化人口(人)	352,672	352,396	352,311	352,733	100.1%
人口普及率	97.3%	97.5%	97.5%	97.6%	100.1%
水洗化率	94.8%	94.9%	96.2%	95.0%	98.8%
年間有収汚水量(m³)	37,429,324	37,872,308	37,525,515	37,873,896	100.9%

2 財政収支

(単位：百万円)

項 目	H27	H28	H29		
			計画	実績(見込)	増減比率
収益的收入	14,295	14,262	14,061	14,334	101.9%
使用料収入	7,199	7,296	7,142	7,302	102.2%
収益の支出	11,890	11,891	11,950	11,943	99.9%
経常損益	2,405	2,371	2,111	2,391	113.3%
特別損益	0	0	0	0	—
当年度純利益	2,405	2,371	2,111	2,391	113.3%
資本的收入	4,651	3,931	4,040	5,629	139.3%
資本の支出	10,531	9,790	10,514	12,309	117.1%
建設改良費	4,028	3,156	3,811	5,607	147.1%
資本の収支不足額	△ 5,880	△ 5,859	△ 6,474	△ 6,680	103.2%
補填財源残高	3,799	3,704	2,495	2,904	116.4%
企業債残高	104,827	99,703	96,161	95,843	99.7%
一般会計繰入金	4,715	4,740	4,635	4,671	100.8%

3 目標指標の達成状況【経営戦略 16、18 ページ】

下段の（）は前年比

指 標 名	H27	H28	H29（見込）	目 標【H38】
水洗化率	94.8%	94.9% (0.1%↑)	95.0% (0.1%↑)	99.8%
管渠老朽化率	3.4%	3.3% (0.1%↑)	3.5% (0.2%↓)	4.5% 【抑制目標】
雨水渠面積整備率	32.5%	32.9% (0.4%↑)	33.1% (0.2%↑)	35.8%
経常収支比率	120.2%	119.9% (0.3%↓)	120.0% (0.1%↑)	120%以上【毎年】

4 指標等の分析

